

ことばを訳すということ

「生殺与奪の権を他人に握らせるな！」いま一世を風靡している某漫画の有名なセリフですが、さて、これを英訳せよと言われたらどうしますか。文字だけを見て“Don't make other people grip live or kill and give or take rights!”などと訳してしまつたら0点です。この訳は少し極端ですが、高校生に和文英訳をしてもらうとこんな感じの見事な訳を書いてくれます。単語や文法に問題がなくても、日本語が表す内容を理解し、前後の文脈を考慮しなければ、相手(採点官)に伝わる訳を書くことはできません。今回の例だと「生殺与奪の権を他人に握らせる」とはどういうことか、もっと平易な表現に言い換えられないか等を考える必要があります。ちなみに英語版では件のセリフは“Never leave yourself so defenseless in front of an enemy!”と訳されています。なるほどこのとき主人公は刀を持った人の前で土下座して命乞いをしていたわけですから、状況にピッタリのセリフだと思います。ところで、2017年の京都大では「生兵法は大怪我のもと」を英訳させる問題がありました。あなたならどう訳しますか?〔酒井昂佑〕

11月・12月のおもなスケジュール		
11/28	土	中3入試突破ゼミ〔月3回〕
29	日	中3公開模試〔会場受験〕
12/1~4	金	教育相談会〔授業なし〕
5	土	中3入試突破ゼミ〔月3回〕 高1進学保護者会
6	日	自習室開室 (12:00~18:00)
12	土	中3入試突破ゼミ〔月3回〕
13	日	自習室開室 (12:00~18:00) Zoom 接続試験
14	月	オンライン授業 DAY
15	火	オンライン授業 DAY
18	金	2学期授業終了
19	土	冬期講習スタート
30	水	年末年始絶対合格感動合宿① やる気UPコンサート
31	木	【休 日】

※1/1(金)~2(土)はお休みになります。
3(日)は年末年始絶対合格感動合宿②があります。

作戦を立てて勉強しよう

テストが近づいてくると自習している姿をよく目にしますが、みなさんは学習の時間配分や優先順位をどう決めていますか。多くの人は「苦手な教科から」「暗記に時間がかかる教科から」のように決めていると思います。しかし、この決め方はいささか効率が悪いと言わざるを得ません。なぜならば、学習の目的は合格することだからです。学習を始める前に、自分が合格するにはあと何点必要なのか、そしてそれをクリアするためにはどの教科を学習するべきなのかを考えなければ効果的な学習は行い得ないのです。自分でこれが決定できないときはぜひ相談しましょう。それを面倒くさがってはいはせっかくの学習も効果が落ちてしまいますよ。〔金子祐太〕



毎年恒例の「特進館ハロウィン」。今年は、ハバタンとキッピー兄弟が応援に駆けつけてくれました!

10月の“自習王”決定!

★中学生の部
中3 大浦もなみ 129.0 時間

★高校生の部
高3 山下 将 148.0時間

MAOA?

米国大統領選も一応の決着がつかました。女性として初めて副大統領に就任予定のハリス氏の勝利演説を聞いてみると、オバマ氏大統領就任時のアメリカが戻ってきたような感覚になります。大国アメリカが解決すべき課題は山積していますが、未来への希望が持てるスピーチでした。語彙や文法で難しい部分はありますが、大衆に向けてゆっくり語りかけているので、字幕付きで見ればよい勉強になると思いますよ。〔酒井昂佑〕

12月分 11月 27日 (金)

学費の振替

毎月の学費振替日は27日(金融機関休業日の場合は翌日)となっております。受講変更等の変更がございましたら毎月10日までにご連絡をいただけますようお願いいたします。

タダほどコワイものはない

「無料」という言葉に、スグに引かれる人がいます。「本体無料!」の魅力的なコピーに騙されて携帯を買い、結果的にそれ以上の総額費用を払ってしまって後悔するような…。十数年前に私が以前の塾を経営していた頃、生徒数が140名ほどのある分教室での出来事。近くに新しい塾が進出し、大量のチラシを投下。そのキャッチコピーは、「無料、無料、とにかく無料…」みたいな、品のない内容だったのですが、その地域(三田ではありません)の人々が多数引っかけ、短期間で200人超の生徒を集めたそうです。そして、悲しいことに私の教室からも中1・2生が計4名転塾していきました。他塾に比べて転塾者は各段少数でしたが、当時の私は心底悔しくて、その4名を受験まで追跡。結果、誰も志望校に合格しなかった。私は、辛くて悲しくて何日も眠れませんでした。その塾は現存しますが、当時の勢いはなく、縮小しています。また約10年前、東海地方の大手塾が全国展開し、塾業界で話題になったことがあります。こども巨大チラシに、「ゼロ円」のオンパレード。やはり一時は生徒が集まりましたが、合格率が低く、今は見る影もありません。塾はディスカウントショップではありません。私たちのモットーは、「今いる生徒を大切にすること」。地域に密着してまじめにコツコツと生徒指導に取り組む、「良識のある進学塾」として、決してこの地を離れることなく歩んでまいります。今年の冬期講習は、「熱い対面授業」。全身全霊でサポートさせていただきます。〔北村昌弘〕

代表北村の独り言

冬期講習は、他のどこよりもボリュームの多い学習時間で勝負。チラシの新聞折込みは1回のみ。がんばります!

編集後記 コロナの影響で今年はなかなか子どもたちの学校へ行く機会がありませんでしたが、10月末から11月にかけては、音楽会や文化祭、PTA活動で久々に教室や体育館に向きました。外は秋晴れで陽があたたかい時間でも、室内ではヒンヤリしている上に、換気のため開放している扉や窓から風が入るので、じっとしているとあっという間に身体が冷えてしまいました。寒い日は暖房器具を使用し、教室内での上着やひざ掛けの着用が認められるなど対応はなされていますが、これからの時期、コロナ対策と寒さ対策の両立が大変そうです。